

広報

ふじかわ



11月号

●平成2年11月5日発行 No.352

町のメモ

平成2年11月1日現在

人口	17,652人
増減	+20人
男	8,658人
女	8,994人
世帯数	4,722世帯
面積	30.92km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩淵 121

富士川もじりは 口が大きい

教育委員会では、私たちの祖先と富士川の関わりを記録に残すために、富士川もじりを再現しました。このもじりは、民俗資料館に保存され、みなさんに公開されます。



町のここの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

町議会の九月定例会が九月二十五日から三日間の会期で開かれました。この議会で町の家計簿の歳入歳出決算が認定されましたので、そのあらましを紹介します。

町長の一般行政報告



富士川町長
常葉雅文

ト開発構想にどのような影響を及ぼすかについて検討を行っています。
また、中部電力から清水市三保に建設予定の石炭火力発電所計画について、九月十日に第一回目の説明会がありました。今後、心配される公害問題などについて十分な調査・検討をしていきます。

1 第二東名と周辺整備

八月六日に公表された第二東名のルートは、南松野馬坂付近を山添いに、西南に向かって五・六歳を高架橋とトンネルで通過するものです。町では第二東名建設連絡調整委員会を設置し、県と地元住民の意見調整、路線周辺整備のための調査、リゾー

2 富士川身延線バイパスの早期実現

富士川身延線バイパスの松野工区については、若干の用地問題を残していますが、工事の進捗も進んでいます。南松野工区は舗装を残すのみとなり、遅くとも十二月中には一部供用開始も出来る状況です。小山工区については、建設省や公安委員会

3 富士山、富士川を生かした町づくり

近年の高齢化・国際化・情報化などの社会情勢に伴って、人々の価値感も多様化し、住民一人ひとりが豊かさを実感でき、個性的で魅力あふれる地域づくりへの関心が高まっています。県でも、世界に誇れる日本一の地域をめざし、市町村がそれぞれの特性を生かして行う地域づくり事業を積極的に支援、推進しています。当町としても「日本一美しく見える富士山、富士川を生かした町づくり」を総合計画との整合性を保ちながら、推進していきます。

4 地域福祉センターの建設に向けて

高齢化社会を切実に考えていく上で、地域福祉計画の策定に向け、推進連絡会、ワーキンググループの発足、高齢者意識調査等も実施中であります。この地域福祉推進の拠点として「地域福祉センター」の早期実現に向け、調査や基本構想も完了しています。今後、さらに実施設計などを綿密に検討し、町民の

5 好評の県立大学特別公開講座

昨年から本格的に開講した

みなさんの要望に答えられる施設の実現を図っていきます。松野地区保育園の統合については、用地取得について努力していますが、それまでの間、平成三年度より北松野保育園の廃止を前提に、保育内容の充実を目指し、松千代保育園の改修を完了しました。

『県立大学特別公開講座』は大学と地域住民との交流を図る県内初のモデルケースとして、注目をあびています。本年度は県教育委員会の後援も得て、三講座それぞれ十回の講義が開催されます。定員を昨年より各講座十人増やし、三十名としましたが町民のみなさんの関心は高く、百人の応募者がありました。この講座を含め、生涯学習の推進充実に努めていきます。



歳出

41億2,269万円

教育費	13億3,435万円
総務課	5億9,901万円
衛生費	4億9,241万円
土木費	4億8,350万円
農林水産業費	4億4,143万円
民生費	3億1,901万円
消防費	1億8,834万円
公債費	1億2,428万円
その他	1億4,036万円

私たちの生活と最もかかわりの深い一般会計での歳入は、前年度と比べて25.6%の増となり、みなさんや事業所から納められる町税も2.6%伸び、4,926万円の増収となりました。

歳出は前年度に比べて26.5%の増となっていますが、総合体育施設の用地取得によるものです。これからも住みよい町づくりのために、みなさんのご協力をお願いします。

歳入

わが町の家計簿

43億6,968万円

町税	19億7,111万円 (45.1%)	繰入金	5億9,861万円 (13.7%)	地交付税	5億4,286万円 (12.4%)	繰越金	2億2,042万円 (5.0%)	県支出金	1億8,905万円 (4.3%)	国庫支出金	1億5,897万円 (3.6%)	その他	6億8,866万円
平成元年度一般会計決算													

可決された提出議案

- ◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
- ◆富士川町表彰条例に基づく表彰者の同意を定めること
- ◆富士川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◆富士川町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆富士川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- ◆平成二年度富士川町一般会計補正予算歳入歳出決算認定
- ◆平成二年度土地取得特別会計補正予算歳出決算認定
- ◆平成元年度富士川町老人保健特別会計歳入歳出決算認定
- ◆平成元年度富士川町水道会計決算認定





〔11月〕

- 11日(日) ふるさと教室〔富士川地区〕
—— 縄文土器野焼き ——
町民スローピッチソフトボール大会
(富士川河川敷)
- 17日(土) 硬式テニス教室(一中テニスコート)
- 18日(日) 秋季バレーボール大会〔混合の部〕
(二小・二中体育館)
- 21日(水) 県立大学特別公開講座(国際化と異文化)
まきの木大学全体学習
- 22日(木) 県立大学特別公開講座(日本人の季節感)
軽スポーツ普及講習会
— バウンドテニス — (二中体育館)
- 24日(土) 県立大学特別公開講座(静岡県の人物史)
硬式テニス教室(一中テニスコート)
- 25日(日) 中央公民館開館5周年記念
「オペレッタ公演」
親善婦人バレーボール大会
(二小・二中体育館)
鈴木杯争奪剣道大会(社会体育館)
- 28日(水) 県立大学特別公開講座(国際化と異文化)
- 29日(木) 県立大学特別公開講座(日本人の季節感)
- 27日(火) ワープロ講座(中央公民館)
- 29日(木)

〔12月〕

- 1日(土) 県立大学特別公開講座(静岡県の人物史)
硬式テニス教室(一中テニスコート)
- 5日(木) 県立大学特別公開講座(国際化と異文化)
- 6日(木) 県立大学特別公開講座(日本人の季節感)
- 7日(金) マラソン大会(一中・二中)
- 8日(土) 県立大学特別公開講座(静岡県の人物史)
硬式テニス教室(一中テニスコート)
- 26日(水) 体育館利用者大掃除
- ※1月1日 元旦ジョギングのついで
- ※1月15日 富士川町成人式



▲大会の華「婦人順送球」

競技の結果は、南町一・二区が総合優勝に輝き、準優勝には八幡富士見町、三位に北松野二区が入りました。また最優秀応援賞は、奇抜な応援で会場を沸かせた南町一・二区、優秀応援賞はバトンガールの東町・日の出町が獲得しました。

大会が円滑にできたのも、各区の役員さんをはじめ、小中学生、各種協力団体や町民の皆さんの力の結集のたまものではないでしょうか。



▲息の合った 力強い宣誓



▲出発前の緊張した顔・顔・顔

十月七日(日)、町をあげてのスポーツの祭典『第二十四回町民体育大会』が、富士川一中のグラウンドで盛大に行われました。

本大会には、県立大学の留学生(富士川町の就学奨励金受給者)が特別参加し、ジャンボボール送りや各種団体対抗リレーに出場。盛んに会場の声援を受けていました。



▲女の戦い / 「百足リレー」



▲親子で仲よく「家族リレー」



▲南町一・二区の奇妙な応援



▲東町・日の出町のバトンガール



「まだまだ若い」▶

第34回
町民体育大会
盛大に開催

平成三年 富士川町成人式



▲北松野二区のかわいい応援

第四十回の町成人式は、平成三年一月十五日(火)、午前十時より富士川町中央公民館ホールにて開催されます。

○案内 町内居住者には、一月一日付年賀状にて、成人式へのご案内をさし上げます。

成人を迎える若人が、社会の形成者・推進者の一員としての自覚を深め、自ら研さんに励むように期待するとともにその前途を祝福する機会とします。

○問合せ 町教育委員会 八一一一一一

○該当者 昭和四十五年四月二日～昭和四十六年四月一日までに

※町外に転出されている方(町出身者)で成人式への出席希望の方は、十二月十五日(土)までに教育委員会までご連絡下さい。

家族そろって
クリスマスファミリーコンサートへ

◎日時 十二月九日(日) 開場午後三時三十分 開演午後四時より

◎会場 富士川町中央公民館ホール

◎出演 斉藤定子&ミュージカルアカデミー

◎入場料 (大人) 前売券一五〇〇円 当日券一七〇〇円 (小人) 前売券一〇〇円

注 (三歳以下でも一席席を) 使用する場合は入場券が必要で

※入場券の発売日は、チラシ・ポスター等で皆さんにお知らせします。 詳しいことは、富士川町中央公民館までお問い合わせください。

☎八一一三三三三



国際交流 これからの交流の第一歩に 県立大学の留学生に奨励金

10月6日(土)、静岡県立大学の留学生10人の方に、富士川町文化振興会(秀村敏朗会長)から就学奨励金が交付されました。



常葉町長から一人ひとりに就学奨励金が

交付式では、常葉雅文町長が「自分の国に帰って、リーダーとして活躍できるように、活用してください。また、これを契機に、富士川町民との交流をお願いします」と話し、一人ひとりに奨励金を送りました。

この就学奨励金制度は昨年開催された「県立大学特別公開講座」が縁となり、受講された町民のみなさんと県立大学留学生との交流会が行われるなど、留学生との触れあいを深める気運が高まり、この制度が誕生しました。

これから、留学生のみなさんが町を訪れる機会も多くなりますので、交友を深めてください。

町民大会に出場して 大きな声援をうけました

十月七日に開催された町民体育大会に十人の留学生が招待されました。ジャンポール送りに出場した留学生たちは、大きなボールを運ぶのに苦労しながらも、笑顔を見せながら競技を楽しみ、会場は温い声援と大きな拍手でいっぱい。この競技だけで満足できなかった留学生は、各種団体リレーに特別参加し、さわやかな走りが印象的でした。

町民大会も国際交流のふれあいの場に



親しいお付き合いを

みなさん こんにちは。
私は、県立大学国際関係学部の黄如文です。
このたび、私たちのために富士川町のみなさまが、奨励金を用意してくださいまして、ほんとうにありがとうございます。遠く外国にあって、なにかと寂しい気持ちに留学生はなるものです。しかし、みなさんがこうして熱い心をよせてくださることは、なにより嬉しいことです。
これを機会に、私たち留学生と親しくお付き合いをしてください。これを第一歩として、みなさんとの交流がはじまることを喜んでいきます。



黄如文さん

今日の感激は、あの日本一の富士山とともに、永遠に忘れられないものになります。ほんとうにありがとうございました。

『人生らくがき帳』 はらたいら先生が講演

漫画家「はらたいら先生」を講師に招き、10月14日中央公民館で文化講演会が開かれました。

『人生らくがき帳』と題した講演の中で「よい人間関係をつくるには、相手の心を開かせることが大切です。そのために、賢いユーモアを活用してほしい」と話されました。



人間関係について楽しく話すはらたいら先生

児童館まつり



子どもたちのオアシスとして親しまれている宇多利・松野児童館で、『児童館まつり』が開かれ、たくさん

のうでにぎわいました。創立二十周年を迎えた宇



一日館長の二人



人形劇はちびっこの大人気

多利児童館では、一日館長に選ばれた石川真希さん、井上加奈子さんが記念式典を盛り上げました。子どもたちが楽しみにしていた人形劇は、宇多利児童館人形劇クラブのお母さんたちが、レコードの効果音楽ではなく、エレピアノでの生の演奏をして、子どもたちを魅了していました。
広場では、母親クラブのみなさんによる焼そば、おでん、マスコットなどの手作りバザーに長い行列ができました。

富士川俳句会 (文協俳句会)

友遊きて忘ることなし時計草	大北町	天野	たま
道問へばその先白き花	上町	齊藤	つね子
大島の帯を低く目に菊花展	東町二	加藤	京子
栗の実の落つる屋根音楽しめり	富士見町	清水	淑子
古文読む膝の火を欲る秋しぐれ	大北町	川崎	麻子
朝霧の底より立ちて黒き鳥	小山	齊賀	圭子
小流れと数珠玉の音の幽しや	南町一	望月	美奈子
鏡面の湖に研す夕蜩	幸町	小林	正子
芽台刈り待つ茶に絡む浜昼顔	幸町	浦田	たみ子
爽秋や退院の日の先見えて	幸町	奥野	賀寿子
良寛の書を晩学に灯の親し	上町	勝呂	恵子
ホトトギス一節ごとに咲き下る	富士見町	佐野	謹子
鶯の輪の寺庭を出て芋洗ふ	大北町	大津	かほ子
柿もぎし脚立を星にあづけたり	俣下町	望月	ひで子
台風一過集り来る雀いとしめり	清水町	鈴木	波瑠江
悠ゆうと白雲渡り曼珠沙華	上町	古谷	晃子
師範出て聖職長し樗の実	南町二	法月	幸子

10月の交通事故

人身事故	18件 (12)	合計	31件 (33)
物損事故	13件 (21)		
富士川身延線	12件 (7)		
国道一号線	8件 (9)		
町道	9件 (12)		
県道	0件 (3)		
その他	2件 (2)		

() は昨年



区名 氏名 保護者 続柄
 旭町 齋藤真里奈 徹志 長女
 蘆崎 若月麻菜 崇正 長女
 宮町 寺田昌樹 順一 二男
 南町一 小林潤也 信光 長男
 南町一 望月愛華 保志 長女

社会福祉事業寄付金 (敬称略)
 一万円 富士川町婦人会
 十万円 中沢義則(坂下)
 三千三百円 望月弘(南町一)

平成2年9月15日

10月14日届出分



草薙 山中裕貴 透 長男
 大北町 田中あみ 勉 長女



区名 氏名 年齢
 相生町 望月 岩男 八三
 吉津 田代 誠 七九
 舟山町 池谷 きく 九四
 旭町 深澤 清美 三四
 旭町 秋山 タツ 七四
 宮町 浦田 つや 九二
 東町一 井出 初雄 六八
 八幡町 望月キクエ 八四
 俣下町 小川 富男 五九

一里塚



この頃、息子と話をしている、言葉の違いをつくづく感じています。ヤングの間で流行している言葉なのでしょう。話の途中で意味がわからなくて、二・三度聞き直すことが、度々あります。その時、子どもから、その意味を教えてもらうと「あ、そうなんだ」と納得する場合がありますがなんとなく理解したような様子を見せることも少なく

ありません。せっかく、息子とコミュニケーションをとろうと、会話を楽しんでいても、途中で話がとぎれて、残念に思います。テレビ、新聞や週刊誌などを見ても、知らない横文字の言葉や単語が数多くあります。私も、息子と話す時に聞き直すことがないように、新しい言葉を理解しようと思っています。息子にも、私たちが使っていた言葉や昔からの伝統や習慣などを話し、お互いに理解していきける親子の関係を築いていきたいと思っています。(宇佐美 美朱)

町への寄付金

(敬称略)
 9月20日~10月26日
 障害者福祉事業へ 二万四百六十円
 上野直記(南町一)
 老人福祉事業へ 五万円 宇佐美英勝(大北町)

お母さんの知恵袋

「フレンチトースト」

「最近、朝はパン食」という家庭が増えていますが、どうしても献立がワンパターンになりやすく、一日のスタートの食事としては、十分ではありません。そこで、手軽で栄養豊富な一品をご紹介します。

材料(四人前)

- うす切り食パン：八枚
- マーガリン：大きじ二杯
- スライスチーズ：四枚
- 牛乳：一カップ、卵：二個
- サラダ油：大きじ一杯
- バター：大きじ二杯

作り方

- ①食パンにマーガリンをぬり、チーズをはさむ。
- ②卵をときほぐし、塩・胡椒で調味し、牛乳をまぜ合わせる。
- ③バターとサラダ油を熱したフライパンに、卵液に浸したサンドイッチを入れ、両面から色よく焼く。夜食にも最適です。

(婦人会 深澤)